



2021年8月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年10月4日

上場会社名 ナガイレーベン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7447 URL <https://www.nagaileben.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澤登 一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 山村 浩之 TEL 03-5289-8200
 定時株主総会開催予定日 2021年11月25日 配当支払開始予定日 2021年11月26日
 有価証券報告書提出予定日 2021年11月25日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年8月期の連結業績 (2020年9月1日～2021年8月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	17,563	2.9	5,212	5.6	5,306	5.5	3,647	5.0
2020年8月期	17,066	1.7	4,937	0.4	5,031	0.8	3,474	0.8

(注) 包括利益 2021年8月期 3,863百万円 (13.3%) 2020年8月期 3,409百万円 (1.6%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年8月期	111.00	—	8.9	11.6	29.7
2020年8月期	105.47	—	8.7	11.3	28.9

(参考) 持分法投資損益 2021年8月期 -百万円 2020年8月期 -百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年8月期	46,428	42,029	90.5	1,278.84
2020年8月期	44,931	40,121	89.3	1,221.00

(参考) 自己資本 2021年8月期 42,029百万円 2020年8月期 40,121百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年8月期	4,448	△3,255	△1,971	5,679
2020年8月期	3,634	575	△3,026	6,446

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00	1,971	56.9	5.0
2021年8月期	—	0.00	—	60.00	60.00	1,971	54.1	4.8
2022年8月期 (予想)	—	0.00	—	60.00	60.00		56.3	

3. 2022年8月期の連結業績予想 (2021年9月1日～2022年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	7,719	△4.3	1,950	△14.3	1,992	△14.2	1,370	△14.1	41.70
通期	17,700	0.8	5,013	△3.8	5,090	△4.1	3,500	△4.0	106.52

※当社は、2022年8月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用予定であり、上記業績予想は当該基準等を適用の上、作成しております。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年8月期	38,236,000株	2020年8月期	38,236,000株
② 期末自己株式数	2021年8月期	5,370,425株	2020年8月期	5,376,686株
③ 期中平均株式数	2021年8月期	32,863,311株	2020年8月期	32,937,552株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年8月期の個別業績（2020年9月1日～2021年8月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年8月期	17,552	2.9	5,025	5.1	5,180	5.2	3,583	4.9
2020年8月期	17,061	1.7	4,782	△0.2	4,924	△0.3	3,415	△0.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年8月期	109.06	—
2020年8月期	103.71	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
2021年8月期	42,852	91.0	39,001	91.0	—	—	1,186.70	
2020年8月期	41,451	89.6	37,161	89.6	—	—	1,130.91	

(参考) 自己資本 2021年8月期 39,001百万円 2020年8月期 37,161百万円

2. 2022年8月期の個別業績予想（2021年9月1日～2022年8月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	7,719	△4.3	1,967	△14.7	1,368	△14.6	41.65	
通期	17,700	0.8	4,944	△4.5	3,423	△4.5	104.17	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページの「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算説明会内容の入手方法)

当社は、2021年10月5日（火）にアナリスト向け決算説明会を開催する予定です。また新型コロナウイルス感染症の情勢を鑑み、事前に録音した音声による説明内容を当日使用する決算説明資料とともに、決算説明会当日に当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 経営方針	4
(1) 会社の経営の基本方針	4
(2) 目標とする経営指標	4
(3) 中長期的な会社の経営戦略	4
(4) 会社の対処すべき課題	5
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
4. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(追加情報)	14
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
5. その他	17
その他	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が続いており、より感染力の強い変異株による感染拡大、各地で緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が断続的に発出されるなど経済活動への制限が行われ、依然として先行き不透明な状況が続いております。

医療・介護を取り巻く環境としましては、新型コロナウイルス感染者数の増減が繰り返し発生しており、医療供給体制が逼迫している地域が全国的に拡大、医療・介護現場では緊迫感のある状況が継続しております。しかしながら、時間の経過とともにワクチン接種率が順次増加し、コロナ禍の終息に向けて感染者数の沈静化が期待されています。

医療・介護報酬の2021年4月の改定につきましては、介護報酬が0.70%のプラス改定、一方従来隔年で改定されていた薬価基準の見直しは今回より毎年実施されることとなり、医療費ベースで約4,300億円削減に相当する引き下げとなりました。

このような状況のもと、当社グループ(当社及び連結子会社)では、コア市場であるヘルスケアウェア、ドクターウェアは、前期からの期ズレ物件が着実に更新されたことに加え、大型物件の新規獲得により順調な増収となりました。また周辺市場の患者ウェアは、市場の旺盛な需要を背景に、前期に予定していた新規取組みを当期より実施するなどシェアアップが進行し、大幅な増収を達成いたしました。一方、感染対策商品の厚生労働省からの大口受注は、医療現場での品不足の解消に伴い、前期より大きく減少しました。

このような結果、当連結累計期間の売上高は前年同期比2.9%の増収となり、売上計画をクリアするとともに、過去最高の売上高を達成いたしました。

生産面におきましては、期ズレによる販売数量の急増や販売品目の急変等が発生し、その対応のために、国内における小ロット多品種生産、海外生産分の緊急輸入等で対処し、さらに昨年秋以降の世界的なコンテナ不足に端を発した海上輸送の不安定化と運賃高騰の影響を受けるなど、厳しい事業運営を強いられました。一方、海外生産シフトが進み、為替相場においては比較的優位な先物予約を確保するなど、収益改善に努めました。その結果、売上高総利益率は、前年比0.1ポイントアップの45.9%となりました。

販売費及び一般管理費におきましては、新型コロナウイルス感染症に関連し、国内外の人的移動自粛、展示会の延期及び中止等があり、広告宣伝費や旅費交通費等が減少したことで、前年同期比0.9%減となりました。

このような状況のもと、当連結会計年度の売上高につきましては17,563百万円(前年同期比2.9%増)、営業利益は5,212百万円(同5.6%増)、経常利益は5,306百万円(同5.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は3,647百万円(同5.0%増)を計上いたしました。

なお、当社グループは、メディカルウェア等の製造・販売の単一事業でありますので、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は46,428百万円となり、前期比1,497百万円の増加となりました。

流動資産は37,322百万円となり、前期比1,386百万円の増加となりました。これは主に、現金及び預金の増加2,232百万円、電子記録債権の増加207百万円、受取手形及び売掛金の減少1,005百万円、たな卸資産の減少16百万円等によるものであります。

固定資産は9,106百万円となり、前期比111百万円の増加となりました。

有形固定資産は7,489百万円となり、前期比82百万円の減少となりました。これは主に、建物及び構築物の減価償却費等による減少18百万円等によるものであります。

無形固定資産は43百万円となり、前期比5百万円の減少となりました。

投資その他の資産は1,572百万円となり、前期比199百万円の増加となりました。これは主に、投資有価証券の増加307百万円等であります。

負債の合計額は4,399百万円となり、前期比411百万円の減少となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少302百万円、未払法人税等の減少91百万円等によるものであります。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を3,647百万円計上した一方、株主還元としての配当金1,971百万円の実施等により42,029百万円となり、前期比1,908百万円の増加となりました。

以上により、自己資本比率は、前連結会計年度末の89.3%から90.5%になりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の残高は5,679百万円となり、前連結会計年度末より767百万円減少(前連結会計年度は1,189百万円の増加)いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果獲得した資金は4,448百万円(前連結会計年度は3,634百万円)となりました。

主な増加要因は、税金等調整前当期純利益5,288百万円(同5,030百万円)、減価償却費316百万円(同334百万円)、売上債権の減少890百万円(前連結会計年度は218百万円の増加)、たな卸資産の減少16百万円(前連結会計年度は151百万円の増加)、減少要因は、仕入債務の減少302百万円(前連結会計年度は140百万円の増加)、法人税等の支払1,725百万円(同1,520百万円)等であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は3,255百万円(前連結会計年度は575百万円の獲得)となりました。

主な減少要因は、定期預金の払戻に対する預入の超過支出3,000百万円(前連結会計年度は預入に対する払戻の超過収入700百万円)、有形固定資産の取得による支出238百万円(同145百万円)等であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は1,971百万円(同3,026百万円)となりました。

主な要因は、配当金の支払額1,971百万円(同1,994百万円)、自己株式の取得による支出額0百万円(同1,031百万円)であります。

(4) 今後の見通し

今後の見通しといたしまして、国内外において新型コロナウイルス感染症の終息の時期や感染拡大による影響が見通せないため、景気の先行きは依然不透明な状況が続くことが見込まれます。

医療・介護業界におきましては、ワクチン接種率の増加、医療供給体制の再構築、治療薬の開発等の進行によるコロナ禍の沈着化の期待を背景に医療現場の混乱は落ち着きを取り戻し、市場は安定化していくものと見込まれます。

当社グループといたしましては、このような状況下において、ヘルスケアウェア及びドクターウェアのコア市場に新たなコンセプトの新商品群を投入、市場を活性化するとともに更新物件の確実な受注とシェアアップを図ります。また、引き続き大幅な増収が見込まれる患者ウェア、コンベルバックの市場浸透が期待される手術ウェアの周辺市場での増収も加え、厚生労働省に納入した売上の剥落をカバーし、前期比0.8%増の過去最高の売上を目指してまいります。

生産に関しましては、QR体制の強化と小ロット多品種生産への対応力の強化を図ると同時に、引き続き海外への生産シフトの推進及び海外生産拠点の生産性の向上と品質の安定化を図ってまいります。一方、原価為替レートの変動による海外生産費用額の増加や、国内での最低賃金額の改定に伴う加工賃上昇等、原価への影響が懸念されますが、その影響を最小化するよう努めてまいります。

このような状況のもと、2022年8月期の業績の見通しは、売上高17,700百万円(前連結会計年度比0.8%増)、営業利益5,013百万円(同3.8%減)、経常利益に関しましては5,090百万円(同4.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、3,500百万円(同4.0%減)を予想しております。

また、当社は2022年8月期の期首より「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を適用予定であります。なお、当該基準等の適用による売上高、営業利益、経常利益、及び親会社株主に帰属する当期純利益の影響は軽微であります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

資本政策といたしましては、当社グループの強固な財務体質の強みを生かし、株主価値向上のため、配当性向を当社単体の純利益の5割程度とする方針を維持するとともに、必要に応じて自己株式の取得等を積極的に実施してまいります。

今後とも、企業価値の向上のための成長機会への再投資も考慮しつつ、株主への利益還元にも努めてまいります。

2. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「いのちの力になりたい」を理念に掲げ、メディカルウェアの企画・生産・販売を通じて、人の生命と健康に貢献する企業を目指しております。

生命と健康との関わりが最も深い医療・介護従事者と患者・高齢者の間にあって、医療とは何か、看護とは何か、介護とは何かを奥深く理解することを原動力とし、より優れた製品を世に送り出す喜びを共感することを基本理念としております。加えて、より多くの投資家へ向けたIR活動を積極的に行い、株主への利益還元の充実を経営の重要課題のひとつと認識し、成長機会へのキャッシュの再投資、自社株買い及び配当によるキャッシュの還元の実により、企業価値の向上を図ることを経営の基本方針としております。

(2) 目標とする経営指標

当社グループとしては、売上高営業利益率及び株主資本利益率（ROE）の長期的な向上を重要な経営指標と考えております。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

① コア市場の深耕

当社のコア市場であるヘルスケアウェア、ドクターウェアにおいて、高感覚のハイエンド商品群、高機能の高付加価値商品群を商品企画開発の柱として商品ラインナップの充実を図るとともに、販促活動及びプロモーション活動を強化し、市場での買い替え需要を喚起いたします。

また、時代の流れに即した新しい販売チャネルの構築に向けても経営資源を投入してまいります。

② 周辺市場のシェア拡大

手術ウェアにおいては、医療廃棄物削減が医療機関の大きな環境課題と捉え、米国スタンダードテキスタイル社との技術提携による再利用可能な環境対策医療資材商品「コンベルバック」の市場浸透に注力し、手術ウェアにおけるシェア拡大を図ります。

患者ウェアにおいては、利用者の視点に立った高感度、高機能商品の開発、市場投入を行い、市場の成長を享受すべく努力を引き続き行ってまいります。

③ 海外ビジネスの開拓

海外市場においては、東アジアを中心として販売活動を行っておりますが、着実に市場での当社認知度は高まってきており、国内で培ったノウハウを活かしたビジネスモデルの海外展開により、業容拡大を目指してまいります。

④ 感染対策商品の開発

メディカルウェアの専門メーカーとして、当社が培ってきたノウハウを活かした感染対策商品の開発に積極的に取り組み、医療現場支援に向け努力してまいります。

⑤ 国内・海外での生産施策

国内生産においては、連結子会社のナガイ白衣工業㈱との連携を強化し、グループ全体の経営効率化を図り、小ロット・多品種生産に対応する効率的な生産体制の確立と、高品質、高付加価値、短納期を目指しますとともに、緊急事態発生時における対応力の維持強化に努めてまいります。

国外生産においては、為替の変動や東南アジア諸国の発展に伴う人件費の上昇やカントリーリスクを見据え機動的な為替の先物予約や適地生産を柔軟に行うことで安定供給を強固にし、原価の維持、低減を図ってまいります。

⑥ 企画・生産・販売の一貫体制による高利益率の持続的な向上

当社グループといたしましては、企画・生産・販売の連携をより一層強化し、高利益率な経営体質の継続的な向上に取り組んでまいります。

（4）会社の対処すべき課題

当社グループでは、厳しい経済環境のなか、遵法精神に基づいた顧客サービスの向上を経営上の課題ととらえ、以下の諸施策を推進することにより市場での競争優位性の確保と更なるシェアアップを目指しております。

- ① 営業 コア市場の深耕によるシェアアップ、周辺市場での業容拡大、海外市場の開拓及び時代に即した新販売チャネルの構築、広告宣伝活動の強化
- ② 企画 高機能性、高感性、高品質、環境保護を追求した高付加価値商品の企画開発
- ③ 物流 QR体制促進のための物流効率の見直し、コスト低減及び出荷精度の向上
- ④ 生産 製品の品質向上並びに短納期体制の確立及びコスト削減を重視した生産効率の見直し
- ⑤ 管理 企業価値の向上のための経営環境の変化に対応した意思決定のスピードアップ、事務効率の向上及び情報の有効活用と情報管理の徹底のための環境整備

これらの課題に対して、ISOマネジメントシステムを利用し、品質についてはISO9001の運用を徹底し、継続的な顧客サービスと顧客ニーズを把握した商品提供を進めており、環境面においては、ISO14001の運用に取り組んでまいります。また、情報の有効活用と情報管理の徹底のために、社内ルールの作成・更新に取り組んでまいります。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。

なお、I F R S の適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,646,977	27,879,086
受取手形及び売掛金	3,734,815	2,729,500
電子記録債権	1,838,769	2,045,865
たな卸資産	4,631,840	4,615,329
短期貸付金	2,806	2,927
その他	83,006	51,374
貸倒引当金	△1,685	△1,440
流動資産合計	35,936,530	37,322,645
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	6,793,601	6,925,137
減価償却累計額	△4,100,764	△4,250,995
建物及び構築物 (純額)	2,692,836	2,674,141
機械装置及び運搬具	2,017,086	2,029,684
減価償却累計額	△1,744,252	△1,792,203
機械装置及び運搬具 (純額)	272,833	237,480
土地	4,434,116	4,440,815
建設仮勘定	23,728	1,413
その他	618,941	632,838
減価償却累計額	△470,531	△496,938
その他 (純額)	148,409	135,899
有形固定資産合計	7,571,925	7,489,750
無形固定資産	49,548	43,567
投資その他の資産		
投資有価証券	592,110	899,942
長期貸付金	2,806	—
繰延税金資産	592,462	495,553
その他	188,164	179,245
貸倒引当金	△1,800	△1,800
投資その他の資産合計	1,373,744	1,572,941
固定資産合計	8,995,219	9,106,259
資産合計	44,931,749	46,428,904

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年8月31日)	当連結会計年度 (2021年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,592,696	1,290,667
未払法人税等	1,036,737	945,635
賞与引当金	85,379	85,961
その他	999,166	1,016,176
流動負債合計	3,713,980	3,338,441
固定負債		
役員退職慰労引当金	26,610	30,040
退職給付に係る負債	690,172	656,390
その他	379,805	374,241
固定負債合計	1,096,588	1,060,672
負債合計	4,810,568	4,399,114
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,925,273	1,925,273
資本剰余金	2,378,409	2,388,676
利益剰余金	41,599,848	43,276,163
自己株式	△5,920,301	△5,913,545
株主資本合計	39,983,229	41,676,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	228,280	441,087
繰延ヘッジ損益	5,342	1,576
退職給付に係る調整累計額	△95,671	△89,442
その他の包括利益累計額合計	137,951	353,222
純資産合計	40,121,181	42,029,790
負債純資産合計	44,931,749	46,428,904

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
売上高	17,066,476	17,563,397
売上原価	9,256,268	9,504,744
売上総利益	7,810,208	8,058,652
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	234,336	247,701
広告宣伝費	300,401	278,977
従業員給料及び賞与	989,474	995,323
賞与引当金繰入額	61,653	61,776
退職給付費用	48,477	47,228
役員退職慰労引当金繰入額	3,350	3,430
管理手数料	136,130	139,619
租税公課	133,795	134,309
減価償却費	201,483	190,528
その他	763,807	747,560
販売費及び一般管理費合計	2,872,911	2,846,454
営業利益	4,937,296	5,212,198
営業外収益		
受取利息	2,867	4,107
受取配当金	11,816	15,561
受取賃貸料	84,719	85,418
為替差益	6,783	11,248
雑収入	21,426	13,797
営業外収益合計	127,612	130,133
営業外費用		
固定資産賃貸費用	32,720	36,016
雑損失	230	0
営業外費用合計	32,951	36,016
経常利益	5,031,958	5,306,315
特別利益		
固定資産売却益	270	462
投資有価証券売却益	11,278	—
特別利益合計	11,549	462
特別損失		
固定資産除売却損	13,314	17,992
特別損失合計	13,314	17,992
税金等調整前当期純利益	5,030,193	5,288,785
法人税、住民税及び事業税	1,561,989	1,638,865
法人税等調整額	△5,878	2,046
法人税等合計	1,556,111	1,640,911
当期純利益	3,474,081	3,647,873
親会社株主に帰属する当期純利益	3,474,081	3,647,873

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
当期純利益	3,474,081	3,647,873
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,225	212,807
繰延ヘッジ損益	1,619	△3,765
退職給付に係る調整額	△18,415	6,229
その他の包括利益合計	△65,021	215,270
包括利益	3,409,060	3,863,144
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	3,409,060	3,863,144
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自2019年9月1日 至2020年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,925,273	2,368,673	40,120,937	△4,896,115	39,518,768
当期変動額					
剰余金の配当			△1,995,170		△1,995,170
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,474,081		3,474,081
自己株式の取得				△1,031,396	△1,031,396
自己株式の処分		9,736		7,210	16,946
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	9,736	1,478,910	△1,024,186	464,460
当期末残高	1,925,273	2,378,409	41,599,848	△5,920,301	39,983,229

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	276,505	3,722	△77,255	202,972	39,721,741
当期変動額					
剰余金の配当					△1,995,170
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,474,081
自己株式の取得					△1,031,396
自己株式の処分					16,946
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△48,225	1,619	△18,415	△65,021	△65,021
当期変動額合計	△48,225	1,619	△18,415	△65,021	399,439
当期末残高	228,280	5,342	△95,671	137,951	40,121,181

当連結会計年度 (自2020年9月1日 至2021年8月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,925,273	2,378,409	41,599,848	△5,920,301	39,983,229
当期変動額					
剰余金の配当			△1,971,558		△1,971,558
親会社株主に帰属する 当期純利益			3,647,873		3,647,873
自己株式の取得				△226	△226
自己株式の処分		10,267		6,983	17,250
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	10,267	1,676,314	6,756	1,693,338
当期末残高	1,925,273	2,388,676	43,276,163	△5,913,545	41,676,567

	その他の包括利益累計額				純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	228,280	5,342	△95,671	137,951	40,121,181
当期変動額					
剰余金の配当					△1,971,558
親会社株主に帰属する 当期純利益					3,647,873
自己株式の取得					△226
自己株式の処分					17,250
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	212,807	△3,765	6,229	215,270	215,270
当期変動額合計	212,807	△3,765	6,229	215,270	1,908,609
当期末残高	441,087	1,576	△89,442	353,222	42,029,790

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,030,193	5,288,785
減価償却費	334,008	316,292
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,301	△245
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△828	581
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3,350	3,430
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	2,523	△24,514
受取利息及び受取配当金	△14,684	△19,668
投資有価証券売却損益 (△は益)	△11,278	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	7,359	△354
有形固定資産除却損	5,684	17,884
為替差損益 (△は益)	△4,988	△10,501
売上債権の増減額 (△は増加)	△218,892	890,438
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△151,995	16,510
仕入債務の増減額 (△は減少)	140,780	△302,028
未払消費税等の増減額 (△は減少)	88,074	△87,747
その他	△67,668	68,699
小計	5,140,333	6,157,562
利息及び配当金の受取額	15,072	17,111
法人税等の支払額	△1,520,774	△1,725,730
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,634,632	4,448,944
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△19,700,000	△22,700,000
定期預金の払戻による収入	20,400,000	19,700,000
有形固定資産の取得による支出	△145,571	△238,591
有形固定資産の売却による収入	16,159	580
無形固定資産の取得による支出	△32,141	△10,192
投資有価証券の取得による支出	△1,355	△1,370
投資有価証券の売却による収入	35,362	—
貸付金の回収による収入	2,887	2,852
その他	284	△9,136
投資活動によるキャッシュ・フロー	575,624	△3,255,857
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△1,031,396	△226
配当金の支払額	△1,994,649	△1,971,085
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,026,045	△1,971,312
現金及び現金同等物に係る換算差額	5,004	10,334
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,189,215	△767,891
現金及び現金同等物の期首残高	5,257,761	6,446,977
現金及び現金同等物の期末残高	6,446,977	5,679,086

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて）

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を予測することは困難であります。当社グループの業績に与える影響は限定的であると仮定して、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性等の見積りを行っております。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

当社グループの事業は、メディカルウェア等の製造・販売の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前連結会計年度 (自2019年9月1日 至2020年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
ワタキューセイモア(株)	3,108,063	メディカルウェア等の製造・販売事業

当連結会計年度 (自2020年9月1日 至2021年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称	売上高	関連するセグメント名
ワタキューセイモア(株)	3,478,767	メディカルウェア等の製造・販売事業

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
1株当たり純資産額	1,221円00銭	1,278円84銭
1株当たり当期純利益	105円47銭	111円00銭

- (注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年9月1日 至 2020年8月31日)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益 (千円)	3,474,081	3,647,873
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円)	3,474,081	3,647,873
期中平均株式数(株)	32,937,552	32,863,311

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

5. その他

その他

販売実績

当社グループは、メディカルウェア等の製造・販売の単一事業でありますので、セグメント情報の記載は省略し、その代替として品目別情報を記載しております。

品目別 (千円)	当連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	前年同期比 (%)
ヘルスケアウェア	9,673,545	108.2
ドクターウェア	2,626,778	106.1
ユーティリティウェア	378,995	96.1
患者ウェア	2,523,769	122.1
手術ウェア	1,659,501	96.5
シューズ・他	338,799	97.4
感染対策商品	362,008	32.4
合計 (千円)	17,563,397	102.9

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。